

PENTAX®

PENTAX REMOTE Assistant™ **Macintosh 版**

使用説明書

はじめに

このたびは、PENTAX REMOTE Assistantをダウンロードしていただき、まことにありがとうございます。

本書は、PENTAX REMOTE Assistantの使用説明書です。PENTAX REMOTE Assistantの機能を十分に活用していただくため、ご使用になる前に、本書をよくお読みください。また、別冊のカメラ **istD* の使用説明書、PENTAX PHOTO Browser/PENTAX PHOTO Laboratoryの使用説明書も併せてお読みください。

お読みになった使用説明書は必ず保管して、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役立てください。

商標について




※CompactFlash、コンパクトフラッシュおよびCFはSanDisk Corporationの商標です。

※PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。

※PENTAX REMOTE AssistantおよびPENTAX PHOTO Browser、PENTAX PHOTO Laboratoryはペンタックス株式会社の商標です。

※その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

●本書で使用されている表記の意味は、次のとおりです。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
	知っておくと便利な情報などを記載しています。
	操作上の注意事項などを記載しています。

本文中のパソコンの画像表示は、パソコンの種類などによって異なる場合があります。

目次

PENTAX REMOTE Assistantでできること 3

システム環境について 4

PENTAX REMOTE Assistantを起動する 5

PENTAX PHOTO Browserから起動する 5

アイコンから起動する 6

PENTAX REMOTE Assistantを終了する 6

PENTAX REMOTE Assistantウィンドウの構成 7

ファインダー表示ガイド／ステータスバー／リリースボタン 8

メニューバー 8

ツールバー 10

撮影する

— 基本操作の流れ（クイックスタート） 12

撮影の準備 12

カメラ本体側での設定について 13

PENTAX REMOTE Assistantの環境を設定する（「ファイル」メニュー） 14

撮影する 18

撮影のための設定（「表示」メニュー / 「操作」メニュー） 20

撮影条件ウィンドウ（「表示」メニュー） 20

カメラ設定ウィンドウ（「表示」メニュー） 22

マニュアルホワイトバランス測定（「操作」メニュー） 23

拡張撮影（「操作」メニュー） 26

インターバル撮影／タイマー撮影（「操作」メニュー） 26

拡張ブラケット撮影（「操作」メニュー） 28

カメラの設定（「操作」メニュー） 30

カメラメニュー情報（「操作」メニュー） 30

カスタムファンクション（「操作」メニュー） 32

関連ソフトウェアとの連携	38
<hr/>	
PENTAX PHOTO Browser (画像管理・閲覧)	38
PENTAX PHOTO Laboratory (Rawデータの展開/変換)	38
用語集	39
<hr/>	

PENTAX REMOTE Assistantは、USBケーブルでパソコンに接続したデジタルカメラを、パソコンから操作・コントロールするためのソフトウェアです。さまざまな設定から撮影まで、パソコンで確認しながらコントロールできます。また、撮影した写真データはパソコンに保存されます。

例えば、同じ照明条件で大量の商品写真を撮る場合などは、カメラを三脚などで固定しておいて商品を入れ替えれば、カメラには触れることなく連続して撮影することができます。撮影した写真データも、そのままパソコンの画面上で確認して保存することができます。

PENTAX PHOTO BrowserやPENTAX PHOTO Laboratoryと連携して使うことで、カメラの設定・撮影から画像の管理までの一連の処理を、すべてパソコン上で行うことができます。

ノートパソコンを利用すれば屋外での撮影や管理もでき、自由度がさらに高まります。

また、PENTAX REMOTE Assistantを使うと、カメラの通常の撮影機能に加えて、次の2つの「拡張撮影」機能が利用できます。

インターバル撮影/タイマー撮影

自由度の高い設定でインターバル撮影とタイマー撮影ができます。

拡張ブラケット撮影

きめ細かい設定でオートブラケット撮影が簡単にできます。

PENTAX PHOTO Browser、PENTAX PHOTO LaboratoryとPENTAX REMOTE Assistantは、それぞれ単独に起動することもできます。



- 本書では、PENTAX REMOTE Assistantでカメラの設定をしたり、撮影などの操作をする方法を説明しています。カメラの詳細な設定内容や機能、ファインダー表示ガイドの見かたなどについては、カメラの使用説明書をご覧ください。
- PENTAX PHOTO BrowserやPENTAX PHOTO Laboratoryの操作方法については、PENTAX PHOTO Browser/PENTAX PHOTO Laboratoryの使用説明書をご覧ください。
- カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタの使用をお勧めします。

システム環境について

PENTAX REMOTE Assistantを使用するには、以下のシステム環境を推奨します。

- OS Mac OS 9.0以上（CarbonLib 1.5以上が必要）
- Mac OS X 10.1.3以上
- CPU PowerPC G3以上
- メモリ 256MB以上
- モニタ 1024 × 768で24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
- ハードディスクの空容量70MB以上
- OSがプリインストールされ、USBポートが標準で搭載されていること

注意

- Mac OS 8.6では、PENTAX REMOTE Assistantはご使用になれません。
- カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプタのご使用をお勧めします。
- PENTAX REMOTE Assistantをご利用いただくには、カメラのファームウェアをバージョン1.11以上にアップデートする必要があります。

PENTAX REMOTE Assistantを起動します。起動には、PENTAX PHOTO Browserからの起動と、単独起動とがあります。

起動の前に、パソコンとカメラをUSBケーブルで接続して、カメラの電源をオンにしてください。

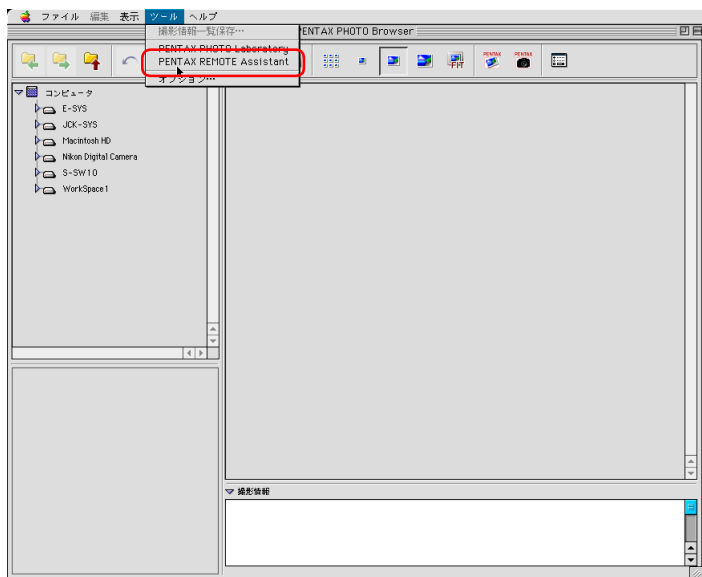


カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタの使用をお勧めします。

PENTAX PHOTO Browserから起動する

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウで、「ツール」メニューから「PENTAX REMOTE Assistant」を選択する

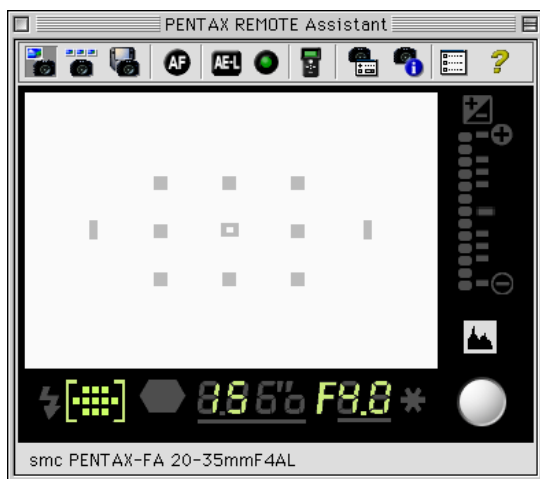
PENTAX REMOTE Assistantが起動します。



アイコンから起動する

- 1 ハードディスク上の「PENTAX Digital Camera Utility」をダブルクリックする
- 2 「PENTAX REMOTE Assistant」のプログラムアイコンをダブルクリックする

PENTAX REMOTE Assistantが起動します。カメラとパソコンが接続されていると、次のようなPENTAX REMOTE Assistant画面が表示されます。



PENTAX REMOTE Assistantを終了する

- 1 「ファイル」メニューから「終了」を選択する

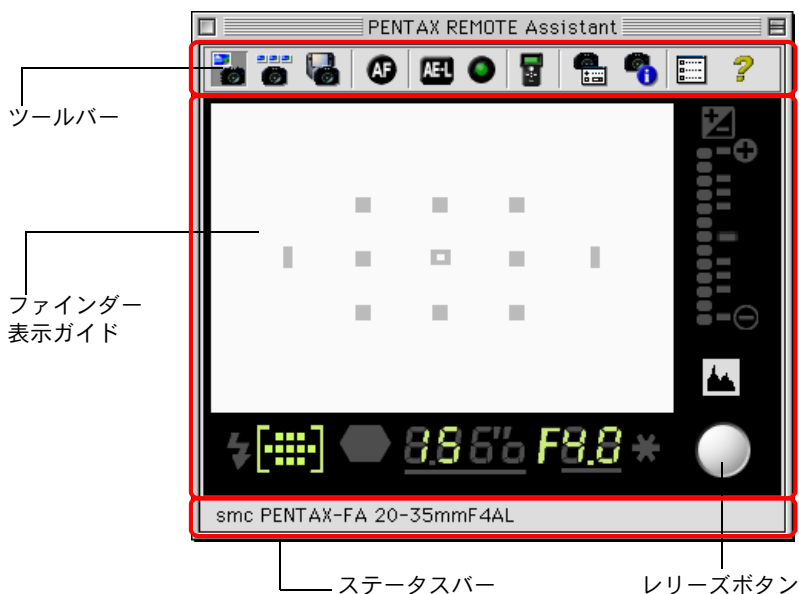
PENTAX REMOTE Assistantが終了して、PENTAX REMOTE Assistantウィンドウが閉じます。



カメラを取り外すには、PENTAX PHOTO Browserの説明書のP.16をご覧ください。

PENTAX REMOTE Assistantウィンドウの構成

カメラがパソコンに接続された状態でPENTAX REMOTE Assistantが起動すると、次のようなPENTAX REMOTE Assistantウィンドウが表示されます。



ファインダー表示ガイド／ステータスバー／ レリーズボタン

●ファインダー表示ガイド

メニューとツールバーの下には、カメラのファインダーを覗いたときに表示されるガイド（ファインダー表示ガイド）が、表示されています。

🔍 ファインダー表示ガイドの詳細については、カメラの使用説明書のP.17「ファインダー表示ガイド」をご覧ください。

注意

PENTAX REMOTE Assistantウィンドウの「ファインダー表示ガイド」では、撮影前の被写体の確認はできません。被写体の確認などの操作は、カメラ本体側で行ってください。

●ステータスバー

画面最下部のステータスバーには、現在使用中のレンズの名称が表示されます。

●レリーズボタン

レリーズボタンをクリックすると、カメラのシャッターが作動して撮影されます。

メモ

「操作」メニューの「レリーズ」を選択して撮影する場合、「連写」と「バルブ」を行なうことはできません。

メニューバー

メニューバーには、「ファイル」「操作」「表示」「ヘルプ」の4つのプルダウンメニューがあります。各メニューの内容は、次のとおりです。

ファイル	シングル撮影モード	1枚ずつ撮影して保存します。 ☞ P.14
	バッファ選択モード	複数の写真を撮影してから、まとめて保存や削除などの処理を行います。 ☞ P.15
	自動保存モード	撮影した写真を、設定した保存場所に自動的に保存します。 ☞ P.17
	環境設定	自動保存時の保存場所とファイル名、リモートリリース時のAF動作などを設定します。 ☞ P.17
	終了	PENTAX REMOTE Assistantを終了します。 ☞ P.6
操作	レリーズ	カメラのシャッターボタンを押して撮影します。 ☞ P.19
	AF実行	オートフォーカス時に、ピント合わせ（シャッターボタンの半押し、または、AFボタンを押す動作）を実行します。 ☞ カメラの使用説明書のP.69、P.76
	AEロック	AEロック（撮影前の露出を記憶させる機能）を実行します。 ☞ カメラの使用説明書のP.67
	グリーンボタン	グリーンボタンを押して、適正露出を得ます。 ☞ カメラの使用説明書のP.64
	マニュアルホワイトバランス	ホワイトバランスをマニュアルで設定します。 ☞ P.23
	測定	☞ カメラの使用説明書のP.140
	拡張撮影	「拡張撮影」ウィンドウを表示して、インターバル撮影/タイマー撮影、および拡張ブラケット撮影（高度なオートブラケットティング撮影）の設定・撮影をします。 ☞ P.26 ☞ カメラの使用説明書のP.80
	カスタムファンクション	「カスタムファンクション」ウィンドウを表示して、カスタムファンクションを設定します。設定内容を保存したり、呼び出すことができます。 ☞ P.32 ☞ カメラの使用説明書のP.113、P.125
	カメラメニュー情報	カメラの設定メニューの情報を表示します。この画面で設定内容を変更することができます。 ☞ P.30 ☞ カメラの使用説明書のP.110～P.124

表示	ファインダ情報の詳細表示	ファインダー表示ガイドを詳細表示します。
	ファインダ情報の簡易表示	ファインダー表示ガイドを簡易表示します。
	ウィンドウの整列	開いている「撮影条件」ウィンドウと「カメラ設定」ウィンドウを、整列して表示します。
	ツールバー	メニューの下にツールバーを表示します。
	ステータスバー	画面下部にステータスバーを表示します。
	撮影条件ウィンドウ	「撮影条件」ウィンドウを表示します。 P.20
	カメラ設定ウィンドウ	「カメラ設定」ウィンドウを表示します。 P.22

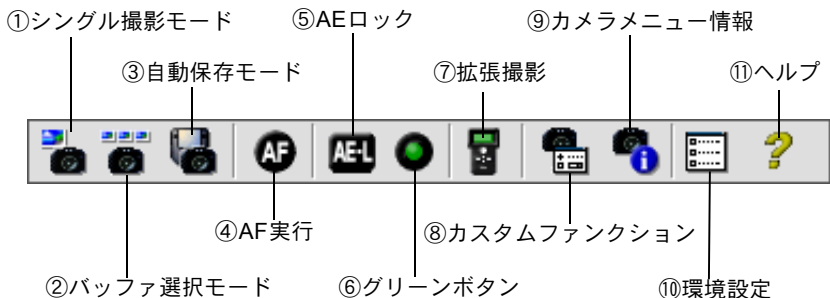
ヘルプ バージョン情報 バージョン情報を表示します。

ツールバー

ツールバーには、よく使う機能（メニュー項目）がボタンとして用意されています。ツールバーのボタンをクリックするだけで、その機能を実行できます。慣れると、メニューを使うよりも簡単に操作することができます。



ツールバーのボタン（項目）にマウスカーソルを合わせると、項目名が表示されます。



ツールバーの各ボタンについては、「メニューバー」(P.8)を参照してください。

	①シングル撮影モード	「ファイル」メニューの該当項目と同じです。
	②バッファ選択モード	
	③自動保存モード	
	④AF実行	「操作」メニューの該当項目と同じです。
	⑤AEロック	
	⑥グリーンボタン	
	⑦拡張撮影	
	⑧カスタムファンクション	
	⑨カメラメニュー情報	
	⑩環境設定	「ファイル」メニューの該当項目と同じです
	⑪ヘルプ	「ヘルプ」メニューの「PENTAX REMOTE Assistantのヘルプ」と同じです。

撮影する

— 基本操作の流れ (クイックスタート)

PENTAX REMOTE Assistantでは、撮影条件などのさまざまな設定から撮影（リリース）まで、パソコン上で操作することができます。

ここでは、撮影の基本操作の流れを説明します。



ドライブモード、画質、フォーカス、露出、ストロボ、測光方式などのカメラ機能の詳細については、カメラの使用説明書をご覧ください。



- ・カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタの使用をお勧めします。
- ・パソコンとカメラをUSBケーブルで接続している間は、オートパワーオフ（節電機能）は働きません。

撮影の準備

PENTAX REMOTE Assistantを使った撮影と通常のリリース撮影との違いは、カメラをパソコンと接続することです。

以下の点に注意しながら撮影の準備をしてください。カメラとパソコンの接続については、PENTAX PHOTO Browserの使用説明書のP.14を参照してください。

- **カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタの使用をお勧めします。**
- **被写体とパソコンの設置場所に合わせてカメラの設置場所を決め、三脚などで固定してください。**
被写体とカメラの位置に加えて、パソコンとの接続がしやすい安定した場所を選んでカメラを設置してください。
撮影前の構図は、PENTAX REMOTE Assistantウィンドウでは確認できないため、カメラ本体側のファインダーで確認してください。
ノートパソコンを利用すれば設置の自由度がさらに高まり、屋外での撮影も可能になります。

- **撮影した写真データの保存場所を決めておきます。**

あとで分からなくならないように、撮影した写真データを保存する場所を前もって決めておくことをお勧めします。大量に撮影する場合は、保存場所に十分な空き容量があることを確認しておいてください。

カメラ本体側での設定について

PENTAX REMOTE Assistantでは、「撮影条件ウィンドウ」や「カメラ設定ウィンドウ」で、現在のカメラの設定内容を確認して、必要に応じて変更することができます。

ただし、被写体の位置と大きさは、PENTAX REMOTE Assistantウィンドウでは確認できません。カメラ本体側のファインダーで確認しながら調整してください。

また、以下の項目は、PENTAX REMOTE Assistantでは設定できないため、カメラ本体側で設定してください。設定内容と設定方法の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。

● 露出モード

📖 カメラの使用説明書 P.57

● 測光モード (=測光方式)

📖 カメラの使用説明書 P.55

● フォーカスモード

📖 カメラの使用説明書 P.68

● 測距エリア (=測距点) モード : AUTO/SEL/□

📖 カメラの使用説明書 P.72



PENTAX REMOTE Assistantの「撮影条件ウィンドウ」と「カメラ設定ウィンドウ」については、「撮影のための設定 (「表示」メニュー)」(P.20)を参照してください。

PENTAX REMOTE Assistantの環境を設定する（「ファイル」メニュー）

PENTAX REMOTE Assistantで写真を撮影して保存するには、次の3種類のモードがあります。

「ファイル」メニューまたはツールバーでモードを選択してから撮影します。

シングル撮影モード

1枚ずつ撮影して保存します。

バッファ選択モード

複数の写真を撮影してから、まとめて保存や削除などの処理を行います。

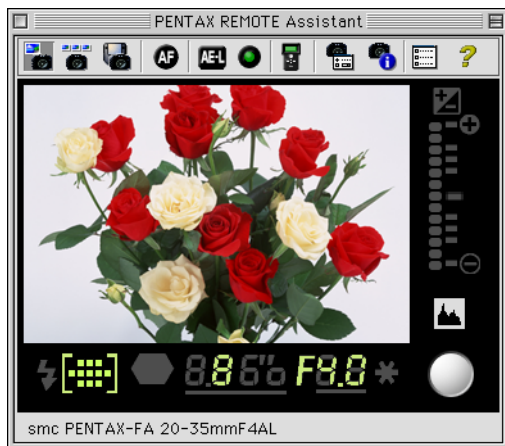
自動保存モード

撮影した写真を、設定した保存場所に自動的に保存します。自動保存するときの保存先フォルダやファイル名の付け方のルールなどは、「ファイル」メニューの「環境設定」で設定します。

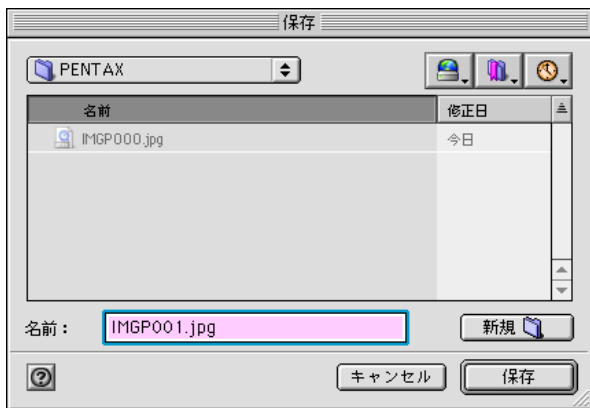
シングル撮影モード

1枚ずつ撮影して保存するモードです。

このモードで撮影をすると、撮影した写真が次のように PENTAX REMOTE Assistantウィンドウに表示されます。



同時に、次の「保存」ダイアログが表示されます。ここで、ファイル名や保存先を変更することもできます。「保存」をクリックすると、指定したファイル名で指定した保存先にファイルが保存されます。



- 「保存」ダイアログで「キャンセル」をクリックするか、または強制的にダイアログを閉じてしまうと、撮影した写真は保存できません。ご注意ください。
- カメラの電源がオフになると、保存していない写真は消去されます。

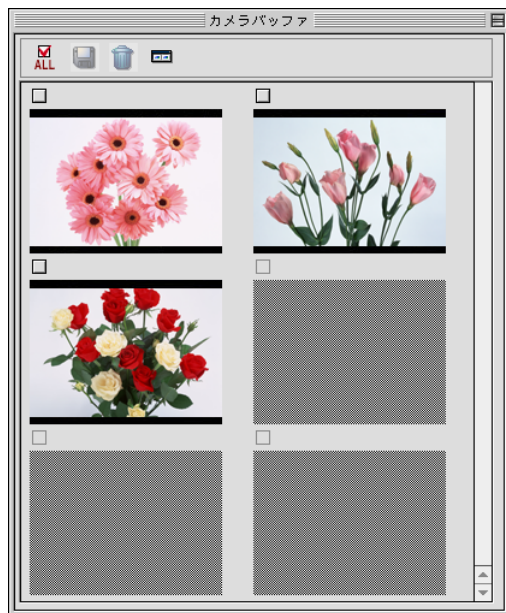


「保存」ダイアログに表示される保存場所とファイル名の候補は、「ファイル」メニューの「環境設定」の設定内容に従います。

バッファ選択モード

複数の写真を撮影してから、まとめて保存や削除などの処理を行うモードです。

このモードを選択すると、「カメラバッファ」ウィンドウが表示されます。撮影した写真は、次のように「カメラバッファ」ウィンドウに順に表示されます。



注意

- 「カメラバッファ」ウィンドウが表示された状態で、「シングル撮影モード」または「自動保存モード」に切り替えると、「カメラバッファ」ウィンドウが閉じて、撮影した写真は保存できなくなります。ご注意ください。
- カメラの電源がオフになると、バッファの内容は消去されます。
- バッファ選択モードでは、撮影したデータはカメラ内のバッファメモリに一時的に保存されるため、バッファメモリがいっぱいになると次の撮影できません。適時、データをファイルに保存してください。
- 「カスタムファンクション」の「ノイズリダクション」が「On」の場合は、5コマまでしか撮影できません。
 ● カメラの使用説明書 P.113, P.125
 ● P.32

「カメラバッファ」ウィンドウでは、タイトルバーの下にツールアイコンがあります。目的の写真を選択してからツールアイコンをクリックすると、保存や削除などの処理を行うことができます。

写真の選択

それぞれの写真の上にある四角（□）をチェックすると、チェックマークが表示されて写真が選択されます。

すべての写真の選択（全選択）

このアイコンをクリックすると、すべての写真を選択することができます。

写真の保存（取り込み実行）

選択した写真を保存します。写真ごとに「保存」ダイアログが表示され、「保存」をクリックすると、指定したファイル名で指定した保存先にファイルが保存されます。



「保存」ダイアログに表示される保存場所とファイル名の候補は、「ファイル」メニューの「環境設定」の設定内容に従います。

写真の破棄（指定画像破棄）

選択した写真をバッファから消去します。破棄された写真は、「カメラバッファ」ウィンドウからも消去されます。



破棄は取り消すことができませんので、ご注意ください。

/ ウィンドウサイズの拡大/縮小（拡張/縮小）

「カメラバッファ」ウィンドウの天地のサイズを拡大/縮小表示します。縮小状態では、スクロールバーで写真を表示することができます。

自動保存モード

撮影した写真を、設定した保存場所に自動的に保存します。自動保存するときの保存先フォルダやファイル名の付け方のルールなどは、「ファイル」メニューの「環境設定」の設定内容に従います。

環境設定

「自動保存モード」時の保存場所とファイル名、リモートリリース時のAF動作などを設定します。

「ファイル」メニューから「環境設定」を（またはツールバーから）選択すると、次の「環境設定」ウィンドウが表示されます。



自動保存時の設定 — 保存先フォルダ/ベースファイル名/連番桁数

自動保存モード時のファイルの保存先のフォルダ、ファイル名の頭に付ける文字、ファイル名の末尾の連番の桁数を設定します。

シングル撮影モード、バッファ選択モードでファイルを保存するときのデフォルトの値も、ここでの設定に従います。

リモートリリース時のAF作動

リリースボタンをクリックして撮影するとき、AF（オートフォーカス）動作を有効にするかしないかを選択します。

各項目を設定して「OK」ボタンをクリックすると、設定内容が保存されて「環境設定」ウィンドウが閉じます。

撮影する

ここでは、基本的な撮影の手順を説明します。

カメラを設置し、パソコンと接続してPENTAX REMOTE Assistantを起動したら、次の手順で撮影してください。








- PENTAX REMOTE Assistantの「撮影条件ウィンドウ」と「カメラ設定ウィンドウ」については、「撮影のための設定（「表示」メニュー/「操作」メニュー）」(P.20)を参照してください。
- 撮影条件などの詳細な設定やカメラの操作については、カメラの使用説明書をご覧ください。

1

カメラ本体のファインダーで確認しながら、被写体の位置と大きさを調整する





- カメラの使用説明書 P.37

2 露出モード / 測光方式 / フォーカスモード / 測距点のモード (AUTO/SEL/) などをカメラ側で設定する


-  露出モード：カメラの使用説明書 P.57
-  測光方式：カメラの使用説明書 P.55
-  フォーカスモード：カメラの使用説明書 P.68
-  測距点のモード (AUTO/SEL/)：カメラの使用説明書 P.72

3 PENTAX REMOTE Assistantの「ファイル」メニューまたはツールバーからモード (シングル撮影/バッファ選択/自動保存) を選択する

必要があれば、「環境設定」でPENTAX REMOTE Assistantの環境を設定します。

-  「シングル撮影モード」(P.14)
-  「バッファ選択モード」(P.15)
-  「自動保存モード」(P.17)
-  「環境設定」(P.17)

4 必要に応じて「撮影条件ウィンドウ」と「カメラ設定ウィンドウ」で撮影条件などの設定を確認・変更する

-  「撮影のための設定 (「表示」メニュー/「操作」メニュー)」(P.20)

5 オートフォーカスの場合は、「操作」メニュー (またはツールバーから) 「AF実行」を選択する

6 PENTAX REMOTE Assistantウィンドウで、リリースボタンをクリックする

選択したモードで写真が撮影されます。

「自動保存モード」の場合は、撮影と同時に写真データが保存されます。「シングル撮影モード」または「バッファ選択モード」の場合は、画像を確認しながら、ファイル名と保存場所を指定して保存してください。

撮影のための設定 (「表示」メニュー / 「操作」メニュー)

PENTAX REMOTE Assistantでは、撮影に関するカメラの設定内容を確認して、必要に応じて変更することができます。

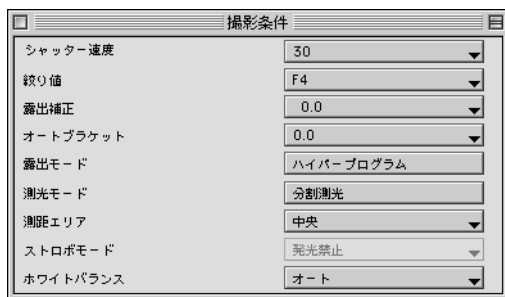
撮影条件や画質に関する設定を確認・変更するには、「撮影条件ウィンドウ」と「カメラ設定ウィンドウ」の2つのウィンドウがあります。

また、カメラに触れることなく、PENTAX REMOTE Assistantからマニュアルでホワイトバランスを設定することもできます。

撮影条件ウィンドウ (「表示」メニュー)

「表示」メニューから「撮影条件ウィンドウ」を選択すると、「撮影条件」ウィンドウが表示されます。

「撮影条件」ウィンドウには、露出モード、絞り値、ストロボモードなど、カメラに現在設定されている撮影条件などの内容が表示されます。



カメラ本体のモードダイヤルで露出モードを切り替えたり、測光モードレバーで測光モードを切り替えるなどの操作に連動して、表示内容も変わります。



- グレーの文字で表示されている項目はPENTAX REMOTE Assistantで変更できない状態であることを表しています。
- 「露出モード」と「測光モード」(測光方式)は、現在の設定内容を確認するだけで、PENTAX REMOTE Assistantでの変更はできません。カメラ本体側で設定してください。

項目の右端にある▼をクリックすると、選択肢のドロップダウンリストが表示されます。リストから目的の値を選択すると、カメラの設定を変更することができます。

「撮影条件」ウィンドウの各項目の詳細については、カメラの使用説明書の該当ページをご覧ください。


● シャッター速度

 カメラの使用説明書 P.59、P.60、P.134


● 絞り値

 カメラの使用説明書 P.59、P.62、P.135


● 露出補正

 カメラの使用説明書 P.77

● オートブラケット

 カメラの使用説明書 P.80


● 露出モード

 カメラの使用説明書 P.57



PENTAX REMOTE Assistantでは設定を変更できません。


● 測光モード (=測光方式)

 カメラの使用説明書 P.55



PENTAX REMOTE Assistantでは設定を変更できません。


● 測距エリア (=測距点)

 カメラの使用説明書 P.72



「測距エリア」(測距点)は、カメラ本体側で測距点切り替えダイヤルを「SEL」(=セレクトモード)にした場合に変更できます。

● ストロボモード

 カメラの使用説明書 P.84



「ストロボモード」は、カメラ本体のストロボが上がっていて使用可能なときに変更できます。

● ホワイトバランス

📖 カメラの使用説明書 P.53、P.140

📖 「マニュアルホワイトバランス測定（「操作」メニュー）」（P.23）

カメラ設定ウィンドウ（「表示」メニュー）


「表示」メニューから「カメラ設定ウィンドウ」を選択すると、「カメラ設定」ウィンドウが表示されます。

「カメラ設定」ウィンドウには、ドライブモード、記録フォーマット（画質）、記録サイズなど、カメラに現在設定されている撮影・画質などに関する設定内容が表示されます。



カメラ本体のドライブボタンでドライブモードを切り替えたり、記録サイズや画質を変更するなどの操作に連動して、表示内容も変わります。



- ・ グレーの文字で表示されている項目は変更できないことを表しています。
- ・ 「測距エリアモード」（測距点のモード：AUTO/SEL/) と「フォーカスモード」は、現在の設定内容を確認するだけで、PENTAX REMOTE Assistant での変更はできません。カメラ本体側で設定してください。

項目の右端にある▼をクリックすると、選択肢のドロップダウンリストが表示されます。リストから目的の値を選択すると、カメラの設定を変更することができます。

「カメラ設定」ウィンドウの各項目の詳細については、カメラの使用説明書の該当ページをご覧ください。

● 測距エリアモード（＝測距点のモード：AUTO/SEL/)

📖 カメラの使用説明書 P.72



PENTAX REMOTE Assistantでは設定を変更できません。

● フォーカスモード

カメラの使用説明書 P.68



PENTAX REMOTE Assistantでは設定を変更できません。

● ドライブモード

カメラの使用説明書 P.42

● 記録フォーマット (=画質)

カメラの使用説明書 P.50

● 彩度

カメラの使用説明書 P.115

● シャープネス

カメラの使用説明書 P.115

● コントラスト

カメラの使用説明書 P.116

● 記録サイズ

カメラの使用説明書 P.49

● 感度

カメラの使用説明書 P.52

マニュアルホワイトバランス測定 (「操作」メニュー)

PENTAX REMOTE Assistantでは、次の手順でマニュアルホワイトバランスを設定することができます。

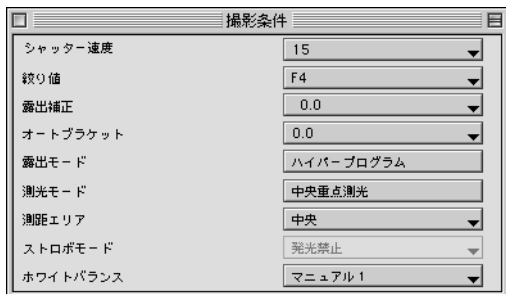


- 撮影する照明の状況などに合わせて、微妙な色合いを再現するために基準となる白を測定して、マニュアルで3種類まで設定することができます。これをマニュアルホワイトバランスといいます。
- ホワイトバランス、およびマニュアルホワイトバランスについての詳細は、カメラの使用説明書のP.53、P.140をご覧ください。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「表示」メニューから「撮影条件ウィンドウ」を選択する

「撮影条件」ウィンドウが表示されます。

2 「撮影条件」ウィンドウの「ホワイトバランス」の右端にある▼をクリックして、ドロップダウンリストから「マニュアル1」～「マニュアル3」のどれかを選択する



マニュアルホワイトバランスは、1～3の3通りを設定することができます。

3 カメラ本体のモードダイヤルで露出モードを選択して、白またはグレーの紙などをファインダーいっぱいに入れる

4 「操作」メニューから「マニュアルホワイトバランス測定」を選択する

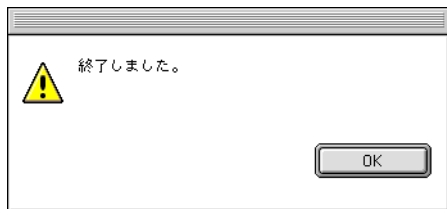
確認のダイアログボックスが表示されます。



5 「OK」ボタンをクリックして、カメラの液晶モニタを確認する

カメラのシャッターが押され、正しく設定されると、液晶モニタにOKと表示されます。

パソコンの画面には、次の終了のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



拡張撮影（「操作」メニュー）

PENTAX REMOTE Assistantを使うと、通常の撮影機能に加えて、次の2つの「拡張撮影」ができるようになります。

インターバル撮影/タイマー撮影

自由度の高い設定でインターバル撮影およびタイマー撮影ができます（カメラ本体には、この機能はありません）。

拡張ブラケット撮影

カメラで設定できるオートブラケット撮影よりも、さらにきめ細かい設定と撮影が簡単にできます。

📷 オートブラケット撮影：カメラの使用説明書 P.80



カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタの使用をお勧めします。



- 拡張撮影では常に自動保存モードになり、撮影した写真は自動的に保存されます。
- 拡張撮影を終了しても、自動保存モードは解除されません。

インターバル撮影/タイマー撮影（「操作」メニュー）

次の手順で、指定した時間間隔で指定した枚数を撮影するインターバル撮影を行います。自由度の高いタイマー撮影として、指定した時間に1枚だけ撮影することもできます。



ここでのタイマー撮影は、約12秒後に撮影するカメラのセルフタイマー撮影とは異なります。

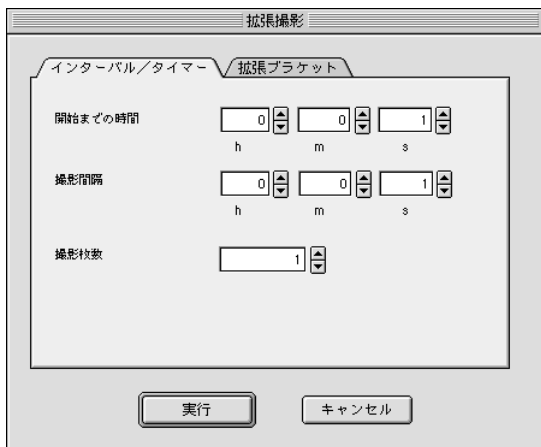
1

PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「拡張撮影」を選択する

「拡張撮影」ウィンドウが表示されます。

2 「拡張撮影」ウィンドウの「インターバル/タイマー」タブをクリックする

インターバル撮影/タイマー撮影の設定画面が表示されます。



3 「開始までの時間」「撮影間隔」「撮影枚数」を設定する

- **開始までの時間**：撮影を開始する時間(何時間/分/秒後に撮影するか)を設定します。0秒～9時間59分59秒の範囲で設定できます。
- **撮影間隔**：インターバル撮影の場合、撮影する間隔を設定します。0秒～9時間59分59秒の範囲で設定できます。
- **撮影枚数**：撮影する総枚数を設定します。1枚～999枚の範囲で設定できます。タイマー撮影として使う場合は、1枚を設定します。

4 「実行」ボタンをクリックする

設定した内容でインターバル撮影/タイマー撮影が実行され、ファイルが自動的に保存されます。



メモ インターバル撮影時、AF.Sでピントが合わないなどによって撮影できなかったコマがある場合は、インターバル撮影終了時に「撮影失敗コマ数」として表示されます。

拡張ブラケット撮影（「操作」メニュー）

きめ細かい設定で、高度なオートブラケット撮影をすることができます。

🔍 オートブラケット撮影：カメラの使用説明書 P.80

また、「露出」以外に「彩度」、「コントラスト」、「シャープネス」を変化させて撮影することもできます。

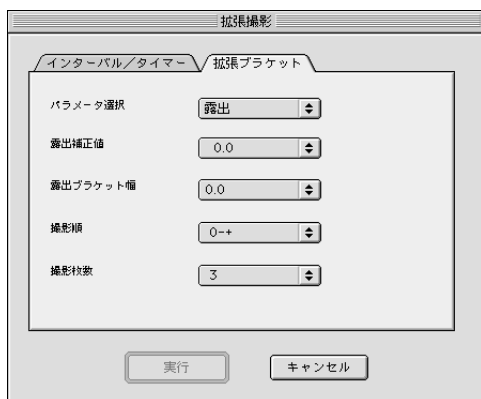
次の手順で撮影します。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「拡張撮影」を選択する

「拡張撮影」ウィンドウが表示されます。

2 「拡張撮影」ウィンドウの「拡張ブラケット」タブをクリックする

拡張ブラケット撮影の設定画面が表示されます。



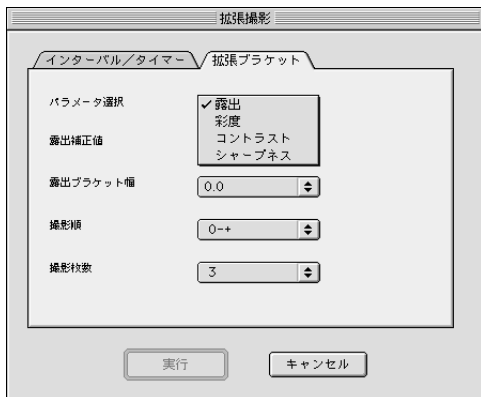
3 「パラメータ選択」のドロップダウンリストで、撮影時に変化させたいパラメータを選択する

オートブラケット撮影をするときは、「露出」を選択します。ほかに、「彩度」/「コントラスト」/「シャープネス」を変化させながら撮影する場合は、目的のパラメータを選択します。

ここでは、「露出」を選択した場合を例に説明します。



カメラが、グリーンプログラムになっていると、「露出」は表示されません。



4 「露出補正值」「露出ブラケット幅」「撮影順」「撮影枚数」を設定する

- 露出補正值：** 撮影の基準となる露出の補正值を設定します。ここで設定した値を中心 (0) として、- (アンダー) 方向と+ (オーバー) 方向に切り替えて撮影されます。基準を補正なしにしたいときは、「0」を選択します。
- 露出ブラケット幅：** 撮影時に変化させる露出補正值の幅を設定します。ここで設定した値で、- (アンダー) 方向と+ (オーバー) 方向に露出を補正しながら撮影されます。「0.0」以外の値に設定してください。
- 撮影順：** 撮影順序を設定します。「0」=補正なし、「-」=アンダー側、「+」=オーバー側を表します。
- 撮影枚数：** 撮影する総枚数を設定します。3～9枚の範囲で設定 (奇数値のみ) できます。



- 「露出ブラケット幅」を「0.0」以外に設定しないと、撮影を実行できません。
- 「露出」以外のパラメータ (「彩度」「コントラスト」「シャープネス」) を選択した場合は、「撮影順」だけを設定できます。
- カメラが、グリーンプログラムモードになっていると露出補正值と露出ブラケット幅の設定は反映されません。
- 拡張ブラケット撮影で撮影した画像を、PENTAX PHOTO Browserで表示すると、撮影情報ペインには「ブラケットOFF」と表示されます。

5 「実行」ボタンをクリックする

設定した内容で拡張ブラケット撮影が実行され、ファイルが自動的に保存されます。



撮影中は、状況を示すダイアログが表示されます。ダイアログの「中止」ボタンをクリックすると、撮影を中止することができます。

カメラの設定（「操作」メニュー）

PENTAX REMOTE Assistantでは、カメラの設定メニューの内容を確認して、必要に応じて変更することができます。
また、カスタムファンクション（3種類）の設定内容を確認して、必要に応じて変更したり、呼び出すことができます。

カメラメニュー情報（「操作」メニュー）

「操作」メニューから「カメラメニュー情報」を選択すると、「カメラメニュー情報」ウィンドウが表示されます。
「カメラメニュー情報」ウィンドウには、日時設定、ワールドタイム、言語設定など、現在カメラに設定されている「設定メニュー」の内容が表示されます。



各項目の右端にある▼をクリックすると、選択肢のドロップダウンリストが表示されます。リストから目的の値を選択すると、カメラの設定メニューの内容を変更することができます。
変更後、「OK」ボタンをクリックすると、設定メニューの内容が変更されます。

「設定メニュー」の各項目の詳細は、カメラの使用説明書の該当ページをご覧ください。

●日時設定

- 24時間表示と12時間表示は、ラジオボタン（○）をクリックして切り替えます。
- 日時は、数値を直接入力するか、右側の上下ボタンをクリックして変更します。

📖 カメラの使用説明書 P.118

●ワールドタイム

- ワールドタイムを有効にするには、「有効」の右にある口をチェックします。
- 夏時間を有効にするには、「有効」の右にある口をチェックします。

📖 カメラの使用説明書 P.118

●言語設定

📖 カメラの使用説明書 P.120

●ビデオ出力

📖 カメラの使用説明書 P.121

●LCDの明るさ

📖 カメラの使用説明書 P.121

●クイックビュー時間

📖 カメラの使用説明書 P.116

●オートパワーオフ時間

⇒カメラの使用説明書 P.117

●電子音

📖 カメラの使用説明書 P.117

●ファイルNo.

📖 カメラの使用説明書 P.122

●スライドショー間隔

📖 カメラの使用説明書 P.123



- 「カメラメニュー情報」ウィンドウの右下には、カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
- 変更内容を設定しないときは、「キャンセル」をクリックします。

カスタムファンクション（「操作」メニュー）

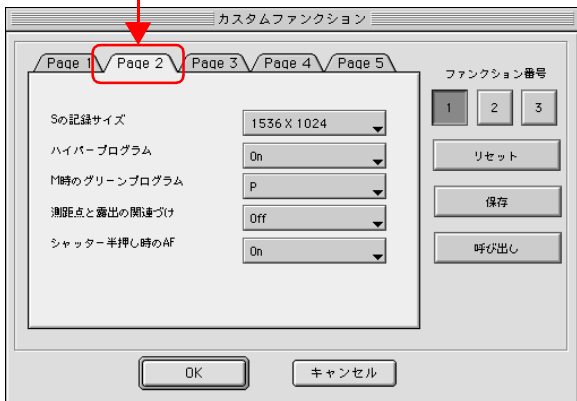
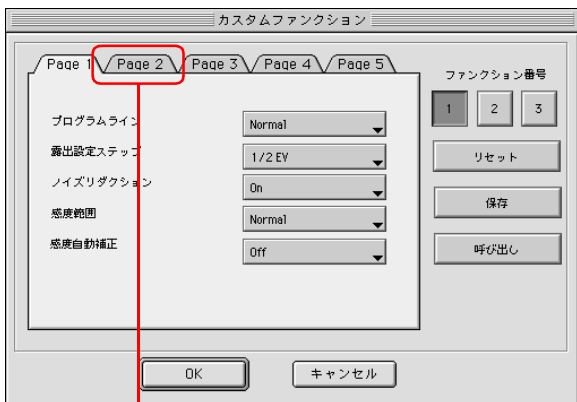
「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択すると、「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

「カスタムファンクション」ウィンドウには、カメラの設定メニューに設定されているカスタムファンクションの情報が表示されます。

📖 カメラの使用説明書 P.113、P.125

画面右上のファンクション番号のボタンをクリックすると、目的のカスタムファンクションが呼び出されます。

選択「Page1」～「Page5」のタブをクリックすると、ページが切り替わります。



各項目の右端にある▼をクリックすると、選択肢のドロップダウンリストが表示されます。リストから目的の値を選択すると、カスタムファンクションの設定内容を変更することができます。

変更後、「OK」ボタンをクリックすると、カスタムファンクションの内容が変更されます。

また、設定内容のファイルへの保存、ファイルからの呼び出し、リセットなどの操作もできます。

「カスタムファンクション」の各項目の詳細は、カメラの使用説明書のP.125をご覧ください。

選択したカスタムファンクションを設定する

次の手順で、目的のカスタムファンクションを選択して設定します。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択する

「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

2 画面右上の数字ボタンをクリックして、目的のカスタムファンクション番号を選択する

選択したカスタムファンクションの設定内容が表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックする

選択したカスタムファンクションが設定されて、「カスタムファンクション」ウィンドウが閉じます。

カスタムファンクションの設定内容を変更する

次の手順で、カスタムファンクションの設定内容を変更します。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択する

「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

2 画面右上の数字ボタンをクリックして、変更したいカスタムファンクション番号を選択する

選択したカスタムファンクションの設定内容が表示されます。

3 「Page1」～「Page5」のタブをクリックしてページを切り替えて、各項目の設定内容を変更する

4 「OK」ボタンをクリックする

変更した内容でカスタムファンクションが設定されて、「カスタムファンクション」ウィンドウが閉じます。

カスタムファンクションの設定内容をファイルに保存する

3通りのカスタムファンクションとは別に、現在の設定内容をファイルに保存しておくことができます。保存した設定内容は、いつでもファイルから呼び出して設定することができます。

次の手順で、カスタムファンクションの設定内容をファイルに保存します。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択する

「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

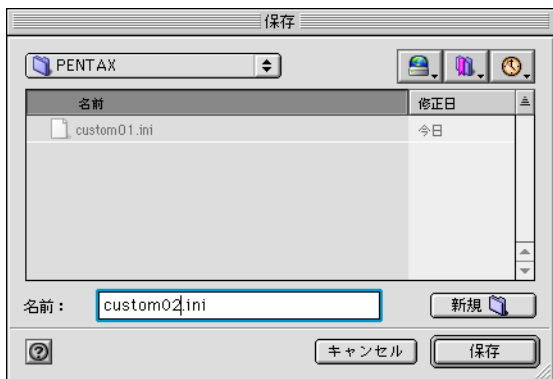
2 画面右上の数字ボタンをクリックして、ファイルに保存したいカスタムファンクション番号を選択する

選択したカスタムファンクションの設定内容が表示されます。

3 必要があれば、現在の設定内容を変更する

4 「保存」ボタンをクリックする

次の「保存」ダイアログが表示されます。



5 保存先を選択して任意のファイル名を入力したら「保存」をクリックする

指定したファイル名で指定した保存先にファイルが保存されてダイアログが閉じます。



ファイル名には、自動的に拡張子「.ini」が付けられます。

6 「カスタムファンクション」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする

カスタムファンクションが設定されて、「カスタムファンクション」ウィンドウが閉じます。

カスタムファンクションの設定をファイルから読み込む

ファイルに保存した設定内容を読み出して設定することができます。次の手順で、カスタムファンクションの設定内容をファイルから読み込みます。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択する

「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

2 画面右上の数字ボタンをクリックして、ファイルの内容を設定したいカスタムファンクション番号を選択する

選択したカスタムファンクションの設定内容が表示されます。

3 「呼び出し」ボタンをクリックする

次の「呼び出し」ダイアログが表示されます。



4 ファイルが保存されているフォルダを開き、目的のファイルを選択して「開く」をクリックする

指定したファイルが読み込まれて、設定内容が「カスタムファンクション」ウィンドウに表示されます。



保存した設定ファイル名には拡張子「.ini」が付けられています。

5 「カスタムファンクション」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする

呼び出したカスタムファンクションが設定されて、「カスタムファンクション」ウィンドウが閉じます。

カスタムファンクションの設定内容をリセットする

設定内容をリセットして、工場出荷時の状態に戻すことができます。次の手順で、カスタムファンクションの設定内容をリセットします。

1 PENTAX REMOTE Assistantの「操作」メニューから「カスタムファンクション」を選択する

「カスタムファンクション」ウィンドウが表示されます。

2 画面右上の数字ボタンをクリックして、リセットしたいカスタムファンクション番号を選択する

選択したカスタムファンクションの設定内容が表示されます。

3 「リセット」ボタンをクリックする

設定内容がリセットされて工場出荷時の状態に戻ります。

4 「カスタムファンクション」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする

リセットされたカスタムファンクションが設定されて、「カスタムファンクション」ウィンドウが閉じます。

関連ソフトウェアとの連携

PENTAX PHOTO BrowserやPENTAX PHOTO Laboratoryと連携して使うと、撮影したデータの閲覧・管理、ファイルフォーマットの変換など、一連の処理をすべてパソコン上で行うことができます。

PENTAX PHOTO BrowserおよびPENTAX PHOTO Laboratoryの操作方法については、PENTAX PHOTO Browser/PENTAX PHOTO Laboratoryの使用説明書をご覧ください

PENTAX PHOTO Browser（画像管理・閲覧）

PENTAX PHOTO Browserは、撮影した写真データを閲覧・管理するためのソフトウェアです。カメラ独自のCCD RAW画像データ（.pef）、TIFF（.tif）、JPEG（.jpg）に対応しています。

撮影情報の確認、撮影情報の一覧保存、RAW画像データの簡易表示などができます。

PENTAX PHOTO Laboratory（Rawデータの展開/変換）

PENTAX PHOTO Laboratoryは、カメラ独自のCCD RAW画像データ（.pef）を読み込んで展開し、トーンカーブやホワイトバランスなどの詳細な調整・加工をするためのソフトウェアです。

また、ファイルをTIFF（.tif）の8bit/16bit、JPEG（.jpg）に変換して保存することができます。

Exif-TIFF形式

ExifはExchangeable Image File Formatの略。TIFF画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるTIFF画像として処理される。

Exif-JPEG形式

ExifはExchangeable Image File Formatの略。JPEG画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるJPEG画像として処理される。

CCD RAWデータ

CCDはCharge Coupled Deviceの略。光情報を電気信号に変換する半導体素子。RAW画像データは、このCCDからの生出力を記録した画像データ。パソコンに転送し、付属のソフトウェアを使用することで、JPEGやTIFFなど設定の異なる画像データを作成することが可能。

JPEG

静止画像の圧縮方式。圧縮することにより画質がやや劣化するが、同じ記録容量に対してより多くの枚数の画像を保存することができる。

TIFF

画像を保存するファイル形式の一つ。画像を圧縮せずに保存するため、ファイルサイズは大きくなるが、保存時の画質の劣化はない。

TIFF16

通常TIFF画像は1画像をRGB各色8bitのデータで記録しているが、これを各色16bitにしたもの。ダイナミックレンジが広がるため、画像処理時の演算精度が向上する。

sRGB (standard RGB)

IEC(International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議)が定める色空間の国際規格。一般的なパソコン用モニタの標準値として定義された色空間で、Exifの標準色空間としても指定されている。

AdobeRGB

米アドビシステムズ社が商業印刷原稿作成用に推奨している色空間。sRGBよりも広い色再現域をもち、印刷での色再現域をほぼカバーできるため、パソコン上での画像編集段階において、印刷でしか再現できない色域情報を失うことがない。なお、対応しないソフトで開くと色が薄く見えてしまうので、注意が必要。